

学校だより

熱 砂

＜発行＞
令和2年11月16日
発行責任者：校長
和田 政男

6時間授業の再開・・・徐々にかつての学校生活を取り戻せますように。

全面登校が再開して2週間が経ちました。11月の1週目には、全面登校再開に向けて手配した大型バスが古くて不具合が多く、ご心配をおかけした家庭もあり、申し訳なく感じております。その後、古い大型バスの使用を止め、2台の小型バスを導入することで、その路線は乗車時間の点でも改善が見られ、安堵しているところです。全校の児童・生徒が登校する日課にも慣れてきたところですので、日課を6時間授業の正規の日課に戻しました。

これまでは、オンライン学習が行われておりましたので、長時間端末に向き合うことの疲労等を考慮し、5時間の日課を組んでおりました。今年度は多くの行事が中止せざるを得ませんでしたので、行事やその準備に費やす時間がないため、授業時数としてはそれほど減らすことなく推移しておりましたが、オンラインでの授業が困難な実技教科において標準時数を確保できていない現状があります。6時間授業の日課に戻すことで、実技教科の時数の回復に努めたいと考えております。

学校らしい活動が徐々に再開

学校の全面登校が再開されたことで、徐々に学校らしい活動を再開しております。

密を避けるために、全校集会は出来ませんが、授業の一環として行う複数学年で行う活動などを、工夫して行っております。「さわやかタイム」では昨年も取り組んだ「ロック直実」の練習を、全校二つのグループに分けて行いました。(写真)

児童・生徒会の委員会活動もこれまでオンラインの活動でしたが、実際の活動ができるようになりました。

中学部家庭科の保育の授業では、幼稚園の園児を対象に読み聞かせや手遊び等の実習を行いました。

家庭科で、調理実習も行っています。

一方で毎週、当局の見回りが行われ、COVID-19への安全対策のチェックを受けております。引き続き、安全対策には十分に留意しながら、学校で出来る学習活動を工夫しながら行ってまいります。



← 中学部家庭科
保育実習

さわやかタイム、
ロック直実の練習風景 ↓



職員室、事務室の場所を移動しました

2学期の学校再開に向けて、職員室も「密を避ける」必要がありましたので、臨時の手段として旧職員室と旧PCルームの二つに分散しておりました。

一方で、夏休み中から物置や職員室、PCルームの不要物を廃棄し、整理を進めておりました。また、児童・生徒全員が必要な時には教室からネット接続できるようになりましたので、PCルームは不要になりました。そこで、11月初旬より、職員室を旧PCルームにまとめることにしました。新職員室では、机を教師個人に割り当てることなく、フリーアドレスの形態をとることで、密を避ける工夫もしました。

旧職員室には新しい事務室を設置し、これまで事務室と職員室の二つに分かれて仕事をしていた事務職員と一緒に仕事ができるようになりました。

職員同士の一層のコミュニケーションが図られ、より効率的な仕事ができるようになることを期待しております。また、次年度に向けて「特別支援教室」を整備する必要もあり、空いた旧事務室を有効活用したいと考えております。



← 新職員室
(旧 PC ルーム)

↓ 新事務室
(旧職員室)

